

# 決算説明会

平成21年3月期 (第27期)  
第2四半期

平成20年 11月 12日(水)

【4570】

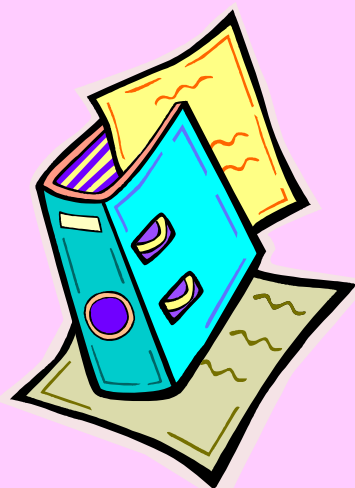
株式会社 免疫生物研究所

代表取締役社長 清藤 勉



平成21年3月期 (第27期)  
第2四半期

## 1. 決算内容について



# 平成21年3月期 第2四半期総括



## 【研究用試薬 関連事業】

- 対前年同期比 1.1%増
  - 自社開発新製品 14品目 (抗体7品目、キット7品目)
- ⇒ 価格競争の激化の影響と見られる環境悪化の状況が続く
1. 利益率の高い自社抗体製品での売上増
  2. 価格競争力の弱い細胞培養関連試薬、受託サービスでは苦戦

## 【実験動物 関連事業】

- 対前年同期比 0.6%増
- ⇒ 製薬企業合併後の落ち着き感あり
- ⇒ 初の自社開発品の販売開始(2008年8月)

## 【医薬関連事業】

- 抗ヒトオステオポンチン抗体(2K1):アステラス製薬、第Ⅲ相臨床試験継続中 ⇒ 今期の受領額は未定
- 抗ヒトアミロイド抗体(82E1):Intellect Neurosciences、ヒト化抗体の作成済。開発を継続。

## 【その他事業】

- 水溶化クレアチン飲料水の国内販売を開始(2008年8月)

# 決算実績

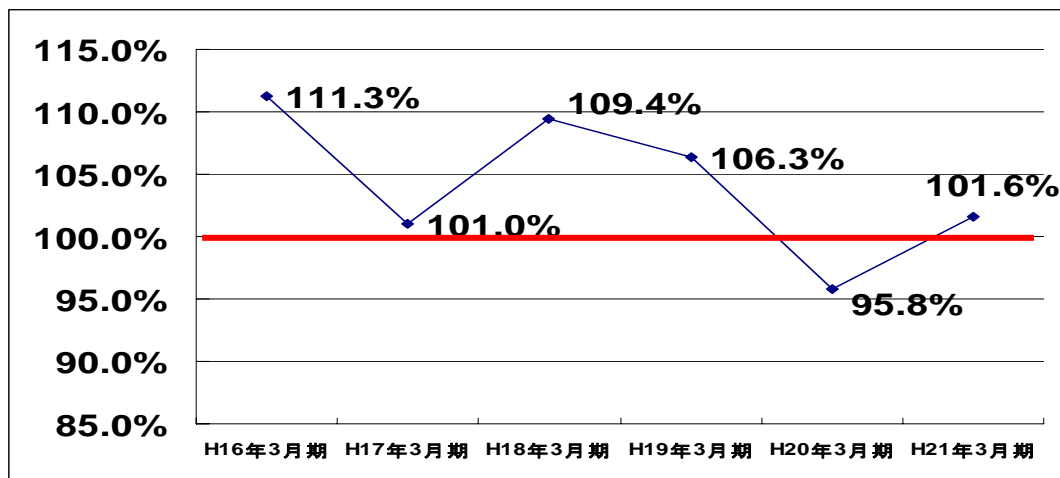
(千円)

	H21年3月期 第2四半期 実績	H21年3月期 年初第2四半期 計画	H20年3月期 第2四半期 実績	前期比増減
売上高	525,410	560,000	517,248	+ 8,162
営業利益	▲ 191,806	▲ 210,000	▲ 232,666	+ 40,860
経常利益	▲ 196,109	▲ 215,000	▲ 232,260	+ 36,150
当期純利益	▲ 205,305	▲ 219,000	▲ 255,447	+ 50,141



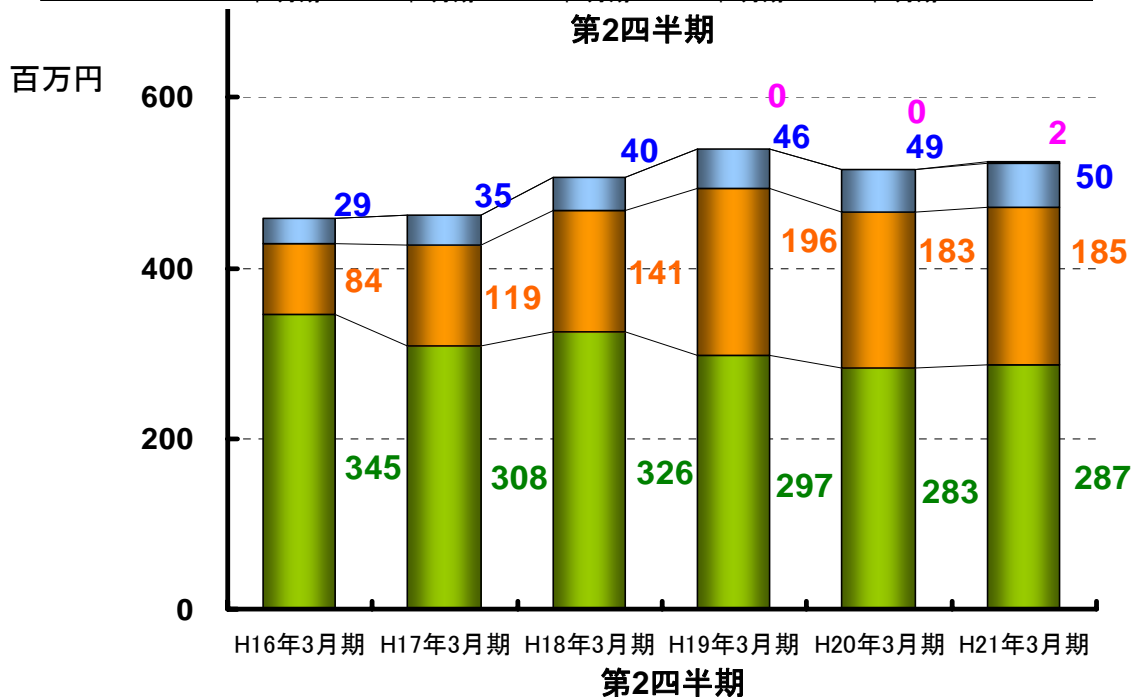
# 売上高推移 (第2四半期)

対前年比率



**売上推移**

- その他事業
- 医薬関連事業
- 実験動物
- 関連事業
- 研究用試薬
- 関連事業





# 貸借対照表

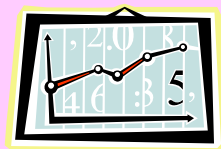
(千円)

	平成20年 9月末	平成20年 3月末	増減額		平成20年 9月末	平成20年 3月末	増減額
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	1,034,576	1,330,859	▲ 296,283	流動負債	172,181	182,065	▲ 9,884
現金及び預金	348,775	312,242	36,532				
固定資産	1,901,497	1,832,241	69,255	固定負債	82,375	89,015	▲ 6,640
有形固定資産	1,325,128	1,376,865	▲ 51,736	負債合計	254,556	271,081	▲ 16,525
無形固定資産	100,432	64,704	35,728	(純資産の部)			
投資その他の資産	475,936	390,671	85,264	資本金	1,571,810	1,571,810	-
				資本剰余金	1,416,578	1,416,578	-
				利益剰余金	▲ 299,659	▲ 94,353	▲ 205,305
				評価・換算差額等	▲ 7,212	▲ 2,015	▲ 5,196
				純資産合計	2,681,516	2,892,018	▲ 210,502
資産合計	2,936,073	3,163,100	▲ 227,027	負債・純資産合計	2,936,073	3,163,100	▲ 227,027

# 業績予想

(千円)

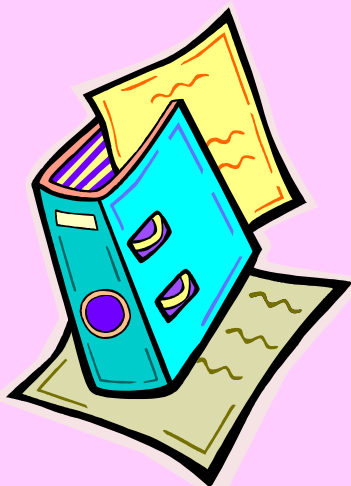
	H21年3月期 (第27期) 年初計画	H20年3月期 (第26期) 実績	前期比増減
売上高	1,323,000	1,288,914	+ 34,085
			+ 2.6%
営業利益	▲ 260,000	▲ 210,367	▲ 49,632
			-
経常利益	▲ 270,000	▲ 208,417	▲ 61,582
			-
当期純利益	▲ 277,000	▲ 236,162	▲ 40,837
			-



研究用試薬関連事業及び実験動物関連事業が、引き続き厳しい環境にあることより期末配当は無配を計画しております。

平成21年3月期 (第27期)  
第2四半期

## 2. 経営方針について



# 主要な経営課題



## ■ 事業効率の向上

研究開発のスピードアップ ⇒ 研究の集中化から早期のシーズ発掘への展開

## ■ 新規事業の拡大

- カイコによる製造技術の確立
- クレアチン水による補完医療への参入計画：  
基礎研究および臨床研究の開始
- 試薬・診断薬の国内外会社との導出提携
- 実験動物関連事業での自社開発品のパイプラインの増加
- 医薬関連事業への経常的な抗体シーズ導出

# パイプライン状況(医薬品)

## ■ 抗オステオポンチン抗体

### ■ 関節リウマチ治療薬

- Phase III : 患者における効果と忍容性を確認する臨床試験を実施中 (アステラス製薬)

### ■ 関節リウマチ診断薬

- 診断薬としてライセンス検討中 (内外診断薬メーカー)

## ■ 抗アミロイドβ抗体

### ■ アルツハイマー型認知症治療薬

- ヒト化抗体作製完了 (Intellect Neurosciences, Inc.)

## ■ ERC/Mesothelin抗体

### ■ 悪性中皮腫 (アスベスト中皮腫) 診断薬

### ■ 診断薬開発 (順天堂大学 医学部)

- 研究型検診を実施中

### ■ 体内診断薬開発 (複数の大学医学部)

## ■ その他

### ■ がん治療薬

- 受容体を中心に数品目、研究開発中

### ■ 免疫関連診断薬・治療薬

- 移植時に於ける不適合早期診断マーカー : CCL8



# パイプライン状況(実験動物)

## ■【炎症免疫領域】

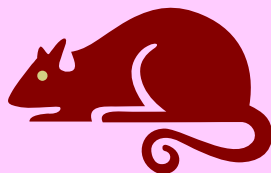
- アトピー性皮膚炎モデル  
⇒ 2008年8月1日販売開始
- ヒトOsteopontin ノックインマウスを評価中

## ■【中枢神経系領域】

- アルツハイマー型認知症促進モデルマウスを開発中
- アルツハイマー型認知症関連トランスジェニックマウスを開発中

## ■【その他の領域】

- 老化マウス  
⇒ 飼育開発中



# 中皮腫

## \*順天堂大チーム

- 順天堂大
- 東京土建  
国民健康保険組合
- (財)東京保健会  
病態生理研究所
- (独)放射線医学総合  
研究所
- (株)免疫生物研究所

## ■ 順天堂大チームで大規模検診を継続実施

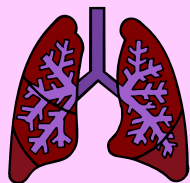
- 2007年2月から開始
- アスベストに関連する建設関係の仕事に携わった経験がある約3万人を対象
- 5年計画で行う研究型検診

## ■ ERC/Mesothelinの検出量が多かった80人には、同大学の専門外来での受診を呼びかけ、たばく質の変動を追跡調査

## ■ その結果、一部の被検診者で、検出量が半年で4倍に急増していることが判明

## ■ 自覚症状が無いまま、精密検査及び組織学的検査で中皮腫と診断

## ■ 発症前診断の有用性をさらに進める



# NCヘアレスマウス

- 農林水産省から販売承認
- 2008年8月1日より販売開始
- 大手製薬会社より問い合わせ  
多数営業進行中
- 今期売上計画→ 42百万円
- 5年後ピーク時で2億円/年の売上を計画



NCヘアレス  
マウス

NCマウス



# 水溶性クレアチン

- クレアチンは骨格筋の代謝に重要な役割を果たす
- 1990年代より運動機能の向上についての報告多数
- 欧米ではスポーツサプリメントとして推奨
- 様々な疾患において研究あり、一部臨床結果の報告あり

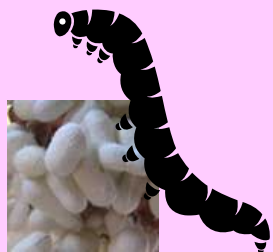
- (有)イムノ・バイオ・ジャパンと業務提携→製造特許の買取を行い本格的事業への遂行
- 国内での補完医療を目的とした基礎研究を東京都老人研と、また臨床研究を順天堂大と行う
- オーストラリアでの補完医療への承認を計画
- 将来、長期的な収益性のある事業を目指す



## **AsthNon 3000**

アズノン3000は、水溶性クレアチンの飲料水(500mL)で、1ボトルに3g 配合されています。

# 新規製造技術開発



## 低コスト化への挑戦

繭には目的タンパク質以外の夾雑蛋白が少なくタンパク質の精製が容易となる

## ■トランスジェニックカイコによるタンパク質製造技術

- ネオシルク、農業生物資源研究所、群馬県との産学官共同開発を計画
- コア技術の確認：繭を出す器官への目的タンパク質の発現および活性は確認済み
- 研究用・診断用・医薬用に有用なタンパク質、抗体の生産開発中

# その他技術開発



## ■ 再生技術開発

### ➤ (株)セルリムーバー

- ✓ 異種動物の土台となる組織や器官から細胞成分を取り除いて、細胞外マトリックスを作製する技術
- ✓ 将来、研究用試薬事業などで、ヒトへの移植や再生に使用できる商品開発を目指す

## ■ その他技術開発

- 感染症診断薬及び治療薬の共同研究
- 新規DDS技術の共同研究





# 経営理念

「抗体」を通じて、世界で難病に苦しむ人々が、  
1日も早く、病気を克服し、明るく豊かな暮らしを営めるよう  
社会に貢献いたします。

## 注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社経営陣が現時点において入手可能な情報によって判断したものであり、不確実である情報から得られた多くの仮定や考えによって作成されております。実際の成果は、さまざまな要素によって変化するため、業績見通し、開発見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、国内および国際的な経済情勢、業界ならびに市場の状況、金利および通貨為替の変動、新製品上市の遅延、導出先企業における開発の進捗の遅れ、技術的進歩、競合他社による特許の獲得、国内外の政府による法規制の変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。